



学校教育目標

もとめる子 思いやる子 やりぬく子 きたえる子

第 6 号

岩見沢市立北村小学校
令和 6 年 8 月 30 日 発行

学校だより

HELPは援助 SUPPORTは支援

校長 角 銅 隆

丸1か月という長い夏休みが終わり、学校にも子どもたちの元気な声が戻ってきました。

27日の始業式には、たくさんの荷物を持って登校してきました。大きな手提げ袋に、自由研究や工作を入れてくる子も多くいました。学級によっては、その日のうちに制作物の発表会をしているところもあり、実演や質問に答える場面で盛り上がっていました。

さて、楽しい思い出をいっぱい作った夏休みが終わり、長い2学期がはじまりました。改めて全校児童を成長させるにあたり、大人の関わり方を考えてみました。

以前、教育書で読んだ話です。

とある貧しい国に、富める国の政治家が視察に行きました。その国ではゴミ処理の意識が低く、諸外国から引き取った粗大ゴミを高い山のように積み上げていました。貧しい家庭の子どもたちは、毎日ゴミの山に出かけてはくず鉄を拾い、身銭を稼いでいました。その様子を見た富める国の政治家は、子どもたちが靴を履いていないことに気づきました。あんなゴミの山を素足で歩かせるのはしのびないと考えた政治家は、富める国に帰り、たくさんの靴を調達して貧しい国に贈ってあげたのでした。1年後、富める国の政治家が再びとある貧しい国に行ってみると、子どもたちは靴を履いてゴミの山に入っていました。しかし、近くにいた子の靴が赤黒く染まっているのを不審に思って足を見せてもらおうと、靴はボロボロで底が剥がれ、足の裏が傷だらけになっているではありませんか。聞いてみると、子どもたちは靴をもらった当初、喜んで毎日履いていました。しかし数か月も経つとほころびやほつれ、靴の裏の一部が剥がれるなど、劣化してきたそうです。買い換えるお金もなくそのまま履いていると、足の裏に傷を作るようになりました。靴をもらうまでは裸足でゴミの山を行き来していたので、足の裏の皮が厚くなり、多少のことでは怪我をしなかったのです。それが、靴をもらったことで足の裏も柔らかくなり、靴なしではゴミの山に入れなくなってしまったのでした。富める国の政治家は、また靴を贈っても同じことを繰り返すだけだと寂しい気持ちになって帰って行ったということでした。

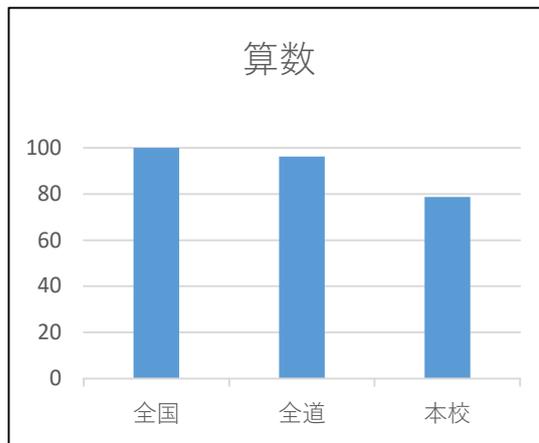
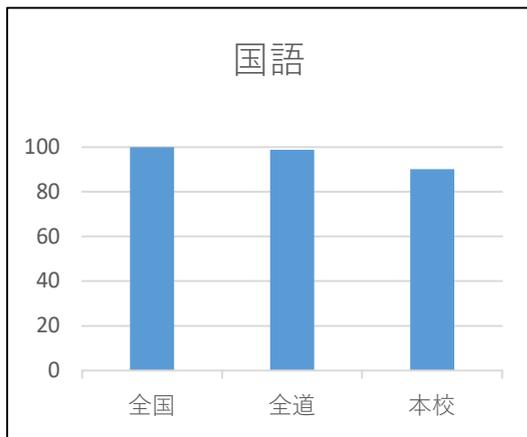
これはHELP（援助）の例です。HELPは、一時的に助けることができても、その問題の本質から外れていることがあるため解決につながらない場合が往々にしてあります。

一方、水不足で悩んでいた途上国に行って、井戸を掘る方法を教えてきた日本のNPO法人が話題になったこともありました。これはSUPPORT（支援）です。解決の手段を教えて、最終的には日本のスタッフがいなくても井戸を掘ることができるようにしたのです。「育て」て「見守る」ことに徹したのでした。

子どもとの関わりも、時にはHALP、時にはSUPPORTを使い分けなければなりません。しかし、確かな成長を促すためには、SUPPORT（支援）をすることが重要です。時間はかかりますが、問題の本質を見極め手を出しすぎずに自分の力でできるよう見守るように心がけたいものです。それが「生きる力」につながると考えています。

全国学力・学習状況調査の本校児童の結果について

4月に6年生を対象に行われました令和6年度全国学力・学習状況調査における本校児童の分析結果がまとまりましたので、お知らせいたします。



※今年の数値は全国全道と比較するとグラフの通りです。(グラフは、全国を100としております。)
前回調査(令和5年度)の本校の数値と令和5年度の本校数値を比較すると数値は下降しております。○国語：約21.5ポイント下降 ○算数：18.8ポイント下降



1 学力面に関する調査から

(1) 国語

国語の領域ごとに見ると、「話すこと、聞くこと」「書くこと」「読むこと」について、全国全道より低い結果でした。

【特に正答率の低かった設問概要】

- 目的や意図に応じて、集めた資料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討できる。
- 漢字を書くことができる(「きょうぎの作戦を考えたりします。」※「競技」が書けていない)。
- 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。

(2) 算数

算数の領域ごとに見ると、「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」が、全国全道より低い結果でした。

【特に正答率の低かった設問概要】

- 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断しその理由を言葉や数を用いて記述できる。
- 速さの意味について理解している。
- 球の直径の長さ立方体の一辺の長さの関係性を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができる。
- 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる。

2 質問紙調査から

(1) 北村小学校の児童の良さが見られた質問

(全国比と比較して「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童が多かった質問の顕著なもの。数字は回答率)

- 「朝食を毎日食べていますか。」(全国：93.7 本校：100.0)
- 「自分にはよいところがあると思いますか。」(全国：84.1 本校：100.0)
- 「人が困っているときは進んで助けていますか。」(全国：92.7 本校：100.0)
- 「英語の勉強は好きですか。」(全国：69.3 本校：93.7)



(2) 北村小学校児童の課題が見られた質問

(全国比と比較して「当てはまる」と答えた児童が少なかった質問の顕著なもの。数字は回答率)

- 「今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。(「全ての書く問題で最後まで解答を書く」と努力した」と解答した児童)」(全国：78.7 本校：50.0)

3 課題に対する今後の取組

教科問わず、記述式の問題に課題があります。このことについては、継続して解決に向け取り組んできましたが、まだまだ十分ではなく、今後も指導が必要と考えています。

①定着の問題に取り組む時間を今後も十分設定し、基礎的基本的な事項を定着させます。(漢字等言葉について、算数の基本的な定義について等)

②記述式の問題に対応できるように、

- ・自分の考えを的確に持つ ・その自分の考えを的確に書く
 - ・自分の考えたことやまとめたことを一定の条件(例えば字数制限)をつけて書く
 - ・資料や図表・問題文の言葉や数式を使いながら説明する
- などに、学年の実態に応じて、今後も力を入れていきます。

③国語科では、

「あなたならどのように書きますか。」「あなたならどのようにまとめますか」とうように、「あなたなら・・・」という問いに「条件に合わせて」書く問題が複数ありました(この問われ方は昨年度も出題されております)。これは、日頃より、自分の考えを持って書けているか、話せているかを確認しているものです。学校でも指導を続けますので、ご家庭でもお子様に、「自分はどうか考えるのか」保護者が手本をすぐに示すのではなく、十分考えさせる習慣をつけていただけるようご配慮ください。

④算数科では、

今回の学力調査において、「 $350 \times 2 = 700$ であることを基に、 350×16 の答えと求め方を言葉や数を使って書く」「同じ1200メートルを歩くのに、Aさんは20分、Bさんは24分かかりました。AさんとBさんの歩く速さはどちらが速いですか、言葉や数を使ってその理由を書く」という問題が出ました。

本校では、これらの問題の正答率が低かったです。2つ目の問題の解答の中に「道のりは同じでも、Aさんは20分、Bさんは24分かかるから」というような答えが複数見られました。言おうとしていることの想像はつくのですが、「なぜ20分だと速いのか」という肝心な部分の説明が欠けているのです。「歩く距離が等しいこと、Aさんの方が短い時間だということ」を言葉や数で示す必要があります。普段の授業で、どのように求めたかを考え説明することを行っていますが、今後も答え方の質を問うていく必要があると考えています。

また、問題文の式を選ぶ問題に苦戦している状況も見られました。「 $72 - 28$ 」の答えを求めることは全員できます。本調査では、「Aさんは72枚の折り紙を持っています。Bさんの持っている折り紙はAさんより28枚少ないです。Bさんの持っている折り紙の枚数を求める式を選びましょう」という問題が出ました。違いを求めることは1年生から学んでいることです。難しいことを問われているわけではないのですが、「問われ方が変わる」と難しく考えてしまっています。実際にこの問題の答えとして「 72×28 」を選ぶ児童が複数いました。

学校では、どの学年においても計算ができることはもちろんのこと、問題の場面を把握させ、「なぜそうなるのか」を考えさせること、他者の考えを聞きながら自分の考えを振り返ること、について今後も力を入れて取り組んでいきます。

⑤教科を問わず、

感覚的、短絡的に解答する傾向が見られました。問われていること自体を正しく理解し、論理的に理解・表現していける授業を進めていきます。

6年生の保護者の皆様には、この学校便りに合わせて個人票(児童個々の結果)を配布しています。個人結果をご覧になりながら、ご家庭での学習や生活の指導にご活用ください。



2024

北村小学校 行事予定

9月

授業日数 18日 累計 98日

日	曜	学校行事	校外関係	スクールバス				給食	授業時数							
				特別便	5便	6便	7便		一	二	三	四	五	六		
1	日															
2	月	安全点検日 小中合同避難訓練②		1 13:40	2.3	4-6		○	4	5	5	6	6	6		
3	火	短縮			1-6			○	5	5	6	6	6	6		
4	水	5年宿泊学習①スクールカウンセラー来校(1時間目の 子供たちの様子を見て回ります)			1-6			○	5	5	5	5	6	5		
5	木	短縮 5年宿泊学習②			1-6			○	5	5	5	5	6	6		
6	金	5年生回復休業 3,4年社会見学		1 13:40	2	3-6		○	4	5	6	6		6		
7	土		北村中 学校祭													
8	日															
9	月	稲刈り(5,6年) 1,2年河川調査参加10:00~11:00		1 13:40	2.3	4-6		○	4	5	5	6	6	6		
10	火	短縮 水泳学習(5,6)(着衣)			1-6			○	5	5	6	6	6	6		
11	水	水泳学習(1~4)(着衣) 定時退勤日			1.2	4-6		○	5	5	6	6	6	6		
12	木	短縮 定例職員会議 クラブ⑥⑦(反省)			1-6			○	5	5	5	6	6	6		
13	金	道徳講演会(全年4時間授業)		1-6 13:20				○	4	4	4	4	4	4		
14	土															
15	日															
16	月	敬老の日														
17	火	短縮 期末業務			1-6			○	5	5	6	6	6	6		
18	水				1-6			○	5	5	5	5	5	5		
19	木	短縮 1,2年社会見学			1-6			○	5	5	5	6	6	6		
20	金	臨時休業 中学校区教育講演会 校内研修														
21	土															
22	日	秋分の日														
23	月	振替休日														
24	火	短縮 読み聞かせ 畑作収穫(中学年:予定)			1-6			○	5	5	6	6	6	6		
25	水	定時退勤日	秋の交通安全指導①		1-6			○	5	5	5	5	5	5		
26	木	短縮 畑作予備日(中学年:予定)	秋の交通安全指導②		1-6			○	5	5	6	6	6	6		
27	金	児童委員会①②	秋の交通安全指導③	1 13:40	2.3	4-6		○	4	5	5	6	6	6		
28	土															
29	日															
30	月			1 13:40	2.3	4-6		○	4	5	5	6	6	6		
備考								月計	18	84	89	96	102	98	103	
								累計	95	437	478	505	536	538	540	